



## 1 大阪港の活性化について

<森議員>

大阪港を一層活性化するため、海運だけでなく、陸運も含めた利用者の意見を広く聴取して改善を図るよう、広域行政のトップである松井知事から橋下市長に強く求めるべきではないか。

<松井知事>

今後、利用者ニーズに的確に対応しながら、橋下市長と連携して大阪港の活性化に尽力してまいりたい。

<森議員>

また、港湾のあるべき姿を検討するに際しては、産業・観光担当部局の意見や、民間の声も聞くなどして進めるべきではないか。

<都市整備部長>

その大阪湾諸港全体のあるべき姿の検討については、利用者ニーズの把握に努める

とともに、広域の視点に立って、物流政策や産業政策など主要施策との整合を図りながら進めてまいる。

<森議員>

府市の港湾行政等の関係部局や、海運や陸運等の民間事業者などの関係者を集めて、港湾についての意見交換会を行ってはいかがか。

<松井知事>

府市統合本部で港におけるタスクフォースを設置し、各関係者から様々な意見を聞き、今後のあり方をお示ししたい。そして、直接皆さん方の声を聞くという作業を繰り返して、大阪港を世界に誇れる港に作り変えたい。

## 2 大阪経済復活の切り札 見本市の誘致について

<森議員>

見本市誘致こそ、府市一体となってオール大阪で取り組むべき重要な経済政策であり、大阪経済を復活へと導く切り札になるもの。今こそ、広域行政を担う大阪府がリーダーシップを発揮して、オール大阪での誘致体制をつくっていくべきではないか。

<商工労働部長>

大阪経済復活に向け、大規模見本市を大阪に呼び戻すため、大阪府と大阪市が一体となって、見本市会場となる施設や地域の魅力を高めるための課題等を整理し、具体的な誘致につなげていく体制を構築してまいりたい。

## 3 大阪府都市開発株式会社（OTK）の民営化と泉北高速鉄道について

<森議員>

泉北高速鉄道の割高な通学定期の割引率をもっと大きくすべきではないか。

<松井知事>

そのためにも、OTKを早く完全民営化したいと考えており、民営化により期待できる民の視点による徹底的なコスト削減や効率化、関連企業・グループを含めたスケールメリットや総合力の活用により、運賃値下げの可能性も高まると考えている府株式の売却時に、泉北高速鉄道の運賃値下げ等の利便性向上策の提案を求めることで、その実現につなげていきたい。



<森議員>

OTKを完全民営化して、経営形態を刷新することこそが、運賃値下げや通学定期の割引率拡大を実現する近道であり、民営化を早期に進めていただきたい。

<松井知事>

OTKの民営化は、「民間にできることは民間に委ねる」という基本的な考え方のもと、府民や利用者の利便性向上等につなげるために行うもの。その目的が出来るだけ早期に実現できるように、しっかりと取り組んでいく。

<森議員>

泉北高速鉄道の運賃は、利用者の大半が中百舌鳥で乗り継ぎして、難波などの都心部に向かうので、生活実感として「高い」と感じている。今後、OTKの株式売却先の選定プロセスにおいて、「泉北高速単独の料金は高くない」との意見が出たとしても決して怯むことなく、運賃値下げについて住民の願いを踏まえて決断いただくことを松井知事に強くお願いする。

## 4 森林保全のための木材利用について

### <森議員>

「一校一室木質化」を目指すなど、保育園、小学校などの内装や備品に地域の木材が利用されるよう働きかけていく必要があるのではないかと。併せて、積極的に地域の木材を利用してもらうため、地域で生産された木材を使って住宅を建てる場合には、住宅ローンの金利が優遇される制度を設けるなど、「木の地産地消」の取組みを積極的に進めるべきではないかと。

### <環境農林水産部長>

保育施設等における木材利用については、効果実証事業として鉄筋コンクリート造りの保育園舎において、床板など内装の木質化を実施した。

また、和泉市と市教委の協力のもと、市内小学校において研究機関と連携して地域材で製作した机やイス等を使用し、教室における空気浄化や子供たちのストレス緩和などに対する効果について、調査検証をおこなっている。

さらに、和泉市で生産された木材を「和泉市産材」として認証する新制度を設けるとともに、金融機関に対し、住宅等の地域材利用に対する低利融資の実施を働きかけるなど、「木の地産地消」に積極的に取り組み、健全な森林保全に努めてまい

